

ジェトロ「ビジネス短信」添付資料

表 環境関係の米国閣僚の主な顔ぶれ

組織	役職	氏名	主な役割	性別	生年	経歴など
環境保護庁(EPA)	長官	マイケル・リーガン	大気汚染や水質汚染など環境政策全般を担当	男	1976	元EPA職員。2017年よりノースカロライナ州で環境品質長官を務め、ゼロエミッション計画を策定・推進。EPA初の黒人長官。
エネルギー省	長官	ジェニファー・グランホルム	エネルギーの管理、研究開発などエネルギー政策全般を担当	女	1959	元ミシガン州知事(2003－2011年)。同州で電気自動車(EV)の普及を進めた。ニュースキャスター経験あり(2012－2013年)。
内務省	長官	デブ・ハーランド	土地および天然資源の大半について管理責任を負う	女	1960	ニューメキシコ州選出の先住民初の連邦議員(下院)(2019-)。化石燃料使用の政策には反対の姿勢をこれまで取ってきた。先住民初の閣僚。
環境諮問委員会(CEQ)	委員長	ブレンダ・マロリー	大統領府直属。環境政策に関する方針を策定し大統領に助言す	女	1957	弁護士。オバマ政権時代にはCEQの顧問弁護士を務めた。環境保護庁での勤務経験もあり。
ホワイトハウス(大統領府)	気候変動担当大統領特使	ジョン・ケリー	国家安全保障委員会の下、気候変動に係る国際問題を担当か	男	1943	元国務長官(2013-2017)。パリ協定合意に尽力。気候変動に関する各国との交渉を担うことが予想される。
	国家気候担当大統領補佐官	ジーナ・マッカーシー	大統領府内の国内気候政策局を率いて、国内気候問題を担当か	女	1954	元環境保護庁長官(2013-2017)で、火力発電の温暖化排出ガス規制を定めた Clean Power Plan を策定した実績がある。

(注)灰色セルのデブ・ハーランド氏、ブレンダ・マロリー氏は3月11日時点で未就任。

(出所)報道資料、政府資料などを基にジェトロニューヨーク事務所作成